

2024年度

ニチイキッズ仙北町駅保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～2025年1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月5日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもの興味・関心に着目し、一人一人の気持ちに寄り添いながらわくわくするような保育の実践を目指してきた。全職員が同じ方向性で取り組めるよう園内研修を実施し、保育者の関わりについての知識を深めることが出来た。
子どもの発達援助	一人一人の発達や特性について、職員の共通理解を図るため定期的な話し合いの場を設け保育の質の向上に努めてきた。また、様々な研修受講や外部の専門機関との連携の強化を行い、個々に合った発達援助を行うことで、すべての子どもが共にいきいき過ごせるよう環境を整えていくことが出来た。今後も継続的な研修や話し合いを行っていききたい。
保護者に対する支援	送迎時には、保護者にその日の子どもの様子を分かりやすく伝え、各クラスのホワイトボードや廊下、玄関等に写真を掲示するなど、園内の様子が伝わるような工夫をした。また、保護者参加型の園外保育を計画し親子・職員で共に楽しむことが出来た。活動の中で保護者と共に子どもの成長を共有することが出来たので、今後も行事の内容の充実化を図って行きたい。
保育を支える組織的基盤	積極的に内部・外部研修に参加し保育の質の向上を目指し取り組むことが出来た。また、職員会議やミーティング等で、課題についてのディスカッションを行い園全体での保育の質の向上に努めてきた。こまめな情報共有を行うことで園全体のスキルアップに繋げることが出来た。次年度も継続していききたい。

総評
子ども一人一人の発達にしっかりと目を向け、丁寧に寄り添った保育を行うことが出来た。また、不適切保育への視点をさらに強化し、子どもへの言葉の掛け方について職員の気づきを大切にしながらディスカッションを行うことで、園全体での保育の質の向上を目指して取り組むことが出来た。次年度も「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を念頭に、職員の研修や定期的な話し合いの場を継続し、今求められているニーズを受け止め、寄り添った保育が出来るよう職員の自己研鑽に努めていきたい。より安心・安全な環境づくりが出来るよう防犯対策・衛生管理の面において外部の各機関との連携を強化し取り組みながら、保護者との信頼関係を深めていきたい。